

導尿・浣腸・自然な排便等の演習を行いました。

第二看護科1年：第一専攻科実習室

導尿は、尿道口から膀胱内にカテーテルを挿入して尿を排出させるケアです。その目的やケアを行うにあたり知っておきたいポイントを学習しました。

浣腸は正しく行わないと患者さんに危険が及びます。浣腸時の体位、カテーテルの挿入の長さ、浣腸液の温度など注意が必要です。慎重に先生と確認しながら練習しました。

浣腸やおむつ交換などは羞恥心を伴う援助です。肌の露出は最小限にして正しい手技で優しく声をかけながら患者さんの不安が和らぐようにしなければなりません。

